

同志社女子大学生が、こども向けワークショップを実施

京田辺市内各地で、地元のショップ等とコラボレーション

同志社女子大学（所在地：京都府京田辺市・京都市 学長：小崎眞）プレイフル・マルシェ研究会では、現代社会学部現代こども学科の1・2年次生が所属し、子ども向けの工作ワークショップや、子どもと一緒に楽しめるダンスパフォーマンスなど、子どもたちの“やってみたい”を引き出す取り組みを行っています。

この度、「LOVE京田辺マルシェinランチ松井山手」と「無印良品 松井山手」で、こども向けワークショップを実施しました。

■LOVE京田辺マルシェinランチ松井山手

【日時】2023年6月3日（土）・4日（日）

【場所】ランチ松井山手（京都府京田辺市）

梅雨にちなんで、「雨」をテーマに、紙コップと輪ゴムを使った「ピョンピョンがえる」や、紙皿の形を利用した「かたつむり」を子どもたちと制作しました。ステージパフォーマンスは、認定こども園 松井ヶ丘保育園の園児とコラボレーション。子どもたちとゲームやクイズ、ダンスを一緒に楽しみました。



■当イベントに関する、プレイフル・マルシェ研究会所属学生によるコメント

子どもたちと実際に接してみることで、どうしたらたくさんコミュニケーションが取れるのか、どうしたらもっと楽しんでもらえるのかを考えることができました。

子どもたちの作品を作っている時の表情や、必死に頑張っている姿を見て、元気づけられました。

子どもたちの中には、作品にこだわり過ぎて、保護者の方が少し困っている姿もあり、どのタイミングで終わらせるか、どこまで手助けをしようかなどすごく悩みました。このような状況は実際に体験

してみないとイメージできないことなので、今回マルシェに参加できたのはとてもいい機会でした。

子どもたちと実際に会って交流したことで、自分に足りないもの・今後どんなことを学べるべきなのかを知ることができました。



■無印良品 松井山手

【日時】2023年6月11日

【場所】無印良品松井山手（京都府京田辺市）

布に書くことができるクレヨンを使い、巾着袋やトートバックにお絵描きするワークショップを実施。開催にあたり、学生らは話し合いや試作品を制作し、子どもたちに楽しんでもらえるような企画を考案。当日は、参加者に無印良品の商品であるトートバッグや巾着袋を購入していただき、それに絵を描いて自分だけのオリジナル作品を作るというワークショップを行い、約50名の子どもたちに参加いただきました。



■当イベントに関する、プレイフル・マルシェ研究会所属学生によるコメント

今回のワークショップを終えて、より家族の触れ合いを多く見ることができたと感じています。これまで主に活動してきた「LOVE京田辺マルシェinランチ松井山手」でのワークショップでは、こども達と私たちとが主に制作をして、保護者の方は側で見守っていることが多いですが、今回は親子で「ここに何を描こうかな？」「これ何？」など、会話がたくさん見られました。なかでも印象的だったことは、お子さんが絵を描いたバッグを保護者の方にプレゼントしていたことです。一生懸命描いた絵をもらった時の保護者の方の笑顔と、お子さんの嬉しそうな顔がとても印象的で、心があたたまりました。また、親子で会話しながら絵を描いたり、きょうだいで参加されていたりした人もいて、このワークショップを通してたくさんの笑顔を見ることができて嬉しかったです。



■メディア関連の方へ

取材をご希望の方は、お手数ですが、下記お問い合わせまでご連絡をお願いいたします。

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000026.000120207.html>

学校法人同志社 同志社女子大学のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/120207

■本件に関するお問い合わせ先

同志社女子大学広報部広報室広報課

広報課長 渡邊一郎

電話：0774-65-8631

F A X：0774-65-8632

e-mail: koho-t@dwc.doshisha.ac.jp